

第 28 回鹿児島県高等学校新人体操競技・新体操大会要項

- 1 主催 鹿児島県高等学校体育連盟 鹿児島県教育委員会
 2 後援 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会 鹿児島県体操協会
 3 主管 鹿児島県高等学校体育連盟体操専門部
 4 会場 鹿児島県総合体育センター体育館
 5 期日 令和 3 年 11 月 13 日（土）新体操 開会式 9:20～ 閉会式 14:30～（予定）
 令和 3 年 11 月 14 日（日）体操競技 開会式 10:30～ 閉会式 13:30～（予定）
 6 競技種目 新体操 男子・女子 団体競技・個人競技
 体操競技 男子…ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒
 女子…跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆか
 7 競技規定 体操競技・新体操ともに（公財）日本体操協会競技規則（全国高校適用）および最新版の日本体操協会採点規則（全国高校適用）による

8 競技方法

体操競技・男女

種別	方 法
チーム	チーム得点は、各種目の上位3名の得点を合計したものとす。
個人	各種目の得点の合計により順位を決定する。
種目別	各種目別の得点により順位を決定する。

新体操・男女

性別	種別	方 法
男 子	団体競技	自由演技の得点により順位を決定する。 (2分30秒～3分)
	個人競技	「クラブ」、 「スティック」の2種目の合計により順位を決定 (1分～1分30秒)
女 子	団体競技	自由演技のみとし、手具は「フープ5」とす。 (2分15秒～2分30秒)
	個人競技	「フープ」と「ボール」の2種目の合計により順位を決定 (1分15秒～1分30秒)

9 引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。

また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（地方公務員法第 22 条の 2 に示された者）も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に「本校部活動指導員の大会引率について」を事前に届けること。

【参考】引率が認められる職員とは、教頭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・講師(常勤)・部活動指導員・実習助手である。ただし、実習助手については、以下の条件を全て満たし、校長が承認した者である。

- 1 正規職員であること
- 2 当該部活動の指導を常時行っていること
- 3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許法認定講習等で生徒指導に関する単位を 1 単位以上取得し、かつ 6 年以上の勤務経験があること

(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

但し、(2)について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定められている場合は、その規定に従うことを原則とする。

(3) 監督は、（公財）日本体操協会に令和 3 年度の指導者登録を完了した者とする。

10 参加資格

(1) 本年度鹿児島県高等学校体育連盟加盟校在籍学生で 1・2 年生に限る。但し、休学中・留学中の生徒は除く。

(2) 年齢は平成 15(2003)年 4 月 2 日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技 2 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。

- (3) 選手の所属校が（公財）日本体操協会に令和3年度の団体登録を完了しており、かつ選手が令和3年度の選手登録を完了している場合に、大会出場を認める。
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。（「合同チーム参加届」を提出）
- (6) 離島における特別支援学校の支援教室高等部支援教室（以下「支援教室」という。）とその設置高等学校（以下「設置校」という。）は、特例として下記により合同チームでの大会参加を認める。（合同チーム参加届けを提出）
 - ア 加盟校ではない特別支援学校の支援教室の場合は、大会開催基準要項における参加資格の特例、大会参加資格の別途に定める規定並びに本連盟細則第13条に従い大会参加を認める。
 - イ 本大会が全国高校選抜大会予選の扱いとなった場合でも、上位大会への出場権を得ることはできない。
- (7) 転校・転籍後6ヶ月未満のものは参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。（大会出場申請書）を提出）
- (8) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例による学校の参加については、鹿児島県高等学校新人体育大会開催基準要項の「参加資格の特例」並びに「大会参加資格の別途に定める規定」のとおりとする。
- (10) 外国人留学生の参加については、団体は体操競技・新体操共に1名とし、個人は体操競技2名、新体操1名とする。

11 参加制限

- (1) 体操競技
 - (ア) チーム参加は男女とも1校から2チームを上限とし、補欠は2名までとする。（補欠者は個人での申込みをしていれば個人への参加ができる。）
 - (イ) チーム編成人数は最大で4名、最少で3名とする。
 - (ウ) チーム出場の外に1校から最大4名までの個人参加が認められる。
 - (エ) 選手の変更は補欠申し込みをしたものに限る。（選手変更の届出は監督会議で申し出ること。以後の変更は認められない）
- (2) 新体操
 - (ア) 団体競技の参加は、男女とも1校から最大で2チームとする。
 - (イ) チームの編成は、男女ともに選手6名、補欠2名とする。
 - (ウ) 個人競技選手権は、1校から4名まで出場できる。（個人競技選手権に出場した選手も団体競技のチームに加わることができる）

12 参加申込

参加申込に際しては、「個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。

- (1) 申込〆切 令和3年10月29日（金）16時30分までに必着。
- (2) 申込方法 当該学校長の責任において、所定の申込書により2部作成（1部は写しでも可）し、封筒に競技名を朱書きして申し込む。
※プログラム作成のため、上記申込とは別に大会参加申し込み書の電子データを添付して下記メールアドレスに送付すること。
akune-takeru@edu.pref.kagoshima.jp 阿久根 健（川内高等学校）
- (3) 申込先
〒891-0141 鹿児島市谷山中央八丁目4番1号
県立鹿児島南高等学校内 県高体連事務局宛（TEL099-268-8391）
- (4) 参加申込書提出後に出場を辞退しなければならなくなった場合は、速やかに専門委員長に連絡をする。

13 大会参加負担金

- (1) 参加申込生徒一人当たり500円とし、参加申込書に記載された選手数（マネージャー等は除く。）を乗じた額とする。なお、大会直前に選手の追加が合った場合も選手数に加える。
- (2) 団体と個人のどちらにも参加する場合であっても、徴収は参加を予定する実人数であり、重複しての徴収はしない。

- (3) 大会参加申込後に体調不良等により大会に参加しなかった選手がいても、参加申込書に記載された選手数分の金額を徴収する。
- (4) 大会参加負担金は、後日、高体連事務局から各学校に請求する。

14 競技日程 組合せ抽選後、各学校へ連絡する。
 組み合わせ結果は、県高体連事務局ホームページに掲載する。
 監督会議は当日の競技開始前に行う。詳しくは仮プログラム発送時に報せる。

15 表彰

種別	チーム	個人・種目別
体操競技	男女とも1位に優勝旗及び賞状を授与する。 男女とも2～3位に賞状を授与する。	男女とも各1～3位に賞状を授与する。
新体操	男女ともに1位に優勝旗及び賞状を授与する。 男女とも2～3位に賞状を授与する。	男女とも各1～3位に賞状を授与する。

16 服装規定 全国高体連服装規定に準ずる。

体操競技（男女）

- (1) 競技者は、背に規定のゼッケン（縦 15 cm以上 横 20 cm以上）をつけなければならない。
- (2) チームにおいては、同一のユニフォームを着用し、胸章も統一したものをつけなければならない。

※ 上記に違反した場合は、採点規則により減点される。

新体操（男女）

- (1) チームにおいては、同一のユニフォームを着用し、胸章も統一したものをつけなければならない。

※ 上記及び手具の規格に違反した場合は、競技規則に準じ減点をする。